

● 広告募集 ●

『あなたの会社や製品を紹介しませんか?』

本誌は、日本全国で活躍している工学院大学の卒業生を中心に、約68,000人を対象として発行しています。貴社の活動や製品・サービスを紹介してみませんか。

- ◎募集対象.....企業、組織、団体などの広告宣伝など
- ◎掲載紙 工学院大学校友会報Vol.148
- ◎発行予定日.....2027年3月
- ◎主な対象.....工学院大学、工学院大学附属高等学校の卒業生、専門学校の卒業生、卒業生のご父母、現任教員、学園関係者など
- ◎掲載料金.....第2表紙・第3表紙：¥240,000-
本文内：¥90,000- (1/2ページ) / ¥180,000- (1ページ)
- ◎募集締切り.....2027年1月15日

詳細につきましては、工学院大学校友会事務局までお問い合わせください。

● 記事募集 ●

『近況を校友会報やホームページで紹介しませんか?』

広報部では、校友のみなさまの活動を本誌やホームページを使って紹介するお手伝いをします。支部や同窓会、同期会主催のイベント案内、参加者募集や楽しかった活動の報告など、お気軽にお知らせください。また、校友のみなさまがご執筆された書籍の紹介もいたします。詳細につきましては、工学院大学校友会事務局までお問い合わせください。



編集後記

校友会の諸活動は、2025年5月の社員総会を経て、新体制に移行して活動をスタートいたしました。本誌では、2025年度に開催された全国支部長会、社員総会、新春の集いをはじめ、各種行事の様子を紹介いたしました。これまで参加したことがない校友の皆様にも当日の活気な様子をご覧いただき、校友会・同窓会活動に関心を持っていただければ幸いです。

また、校友会報Vol.142 (2021年発行)以降、報告事項を中心としたダイジェスト版として発行しておりましたが、本誌では各同窓会の活動紹介を大幅に拡充いたしました。ぜひこの機会に各同窓会の活動の様子をご覧ください。

来年2027年には第21回全国大会・富山大会が開催されることとなりました。ぜひ皆様お誘いあわせの上、ご参加をお願いいたします。

学園の近況については、2025年に新宿キャンパスの大規模改修工事が本格始動しました。事務フロアを皮切りに、今後は研究室や教室の改修、長周期地震動対策工事などが進む予定です。校友会・同窓会活動をきっかけに、進化するキャンパスに足を運んでいただければ幸いです。その他の近況は「学園トピックス」で紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

最後に、本誌の発行に多大なるご支援・ご協力をいただきました学園理事長・大学学長、附属中学校・高等学校長、各同窓会長、原稿を執筆いただいた校友各位に、この場を借りてお礼を申し上げます。

工学院大学 校友会報

vol.147

発行日 ● 2026年3月19日
 発行 ● 一般社団法人工学院大学校友会
 住所 ● 〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2
 電話 ● 03-3342-2064 / 03-3340-1649
 F A X ● 03-3342-2035
 メール ● jimukyoku@kogakuin.or.jp

編集 ● 一般社団法人工学院大学校友会 広報部
 [部長] 佐藤 弘規 (建築)
 [副部長] 島田 浩行 (高校)
 [部員] 藤田 遼太郎 (建築) 丸地 賢 (電気)
 田中 元樹 (高校)
 [アドバイザー] 鈴木 充孝 (建築)

印刷・製本 ● 株式会社五色
 制作 ● 株式会社ena

工学院大学校友会のホームページはこちらから

<https://www.kogakuin-koyukai.jp/>

会員ページID・パスワード

上記のメールアドレスへ、以下の項目を記載の上、お問い合わせください。
 ○件名 [校友会専用ページのID・パスワード照会]
 ①氏名 (漢字表記) ※旧姓から変わられた方は旧姓も記載 / ②卒業区分・卒業年
 ③メールアドレス / ④住所 ※任意:卒業時の住所から変更となっている場合のみ



<https://www.kogakuin-koyukai.jp/>

ご挨拶 2026

校友の皆様、いつも校友会活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。校友会理事会は、2025年度から40～50歳代の若手理事が4割を占める新体制でスタートしました。これを機に、校友会は新スローガンを掲げ、同じ時期に新体制でスタートした学園と後援会の三位一体で更なる学園の発展に貢献して行く所存であります。一方、昨年度から導入した卒業後10年を超えた会員の年会費制については、2025年12月末で維持協力費時の600名を超え1000名の会員の皆様から年会費を納めていただきました。今後も年会費を納めていただける会員を更なる母校の発展のために増やして行きたいと思っております。母校の発展を願う会員の皆様のご協力をお願いいたします。

【新スローガンについて】

校友会は、2025年度から大幅に若返りました。そこで我々校友会は新たなスローガンを掲げ活動してまいりました。2026年度も引き続きこのスローガンのもと活動を展開して行きます。

メインスローガン **【新しい風 工学院校友会】**

サブスローガン **【歩み続けて125年**

踏み出せ未来へ第一歩】

【親睦と連携】

校友会は、学園が138年にわたり引き継がれてきた「工の精神」の歴史を誇りとし、初代会長の三好晋六郎校長が述べた「親しき友が相頼り相助けることが大切である。」という校友会本来の初心、つまり「親睦と連携」を基本に、学園・後援会と連携し活動して行きたいと思っております。

【2025・2026 チャレンジ目標】

私の会長方針である4つのチャレンジ項目を宣言し、23年度・24年度・25年度と推進してまいりました。達成状況は7割程度となりました。引き続き26年度の会長方針として、下記事項を実施いたします。

- (1) 財政健全化から財政安定化へ
年会費制の拡大と定着化と交付金一元化定着
- (2) 同窓会・全国支部の活動活性化と小グループ活動推進
- (3) 校友の親睦・提携促進のための広報活動強化、校友サポートセンター活性化、活躍する校友の紹介



一般社団法人 工学院大学校友会
会長 **小澤 和重**

- (4) 学園支援の強化の一貫として従来支援に加え
各同窓会実施の資格等の共通化及び技術士資格取得推進

2025年度のチャレンジ項目実施状況を以下に記載します。

【財政健全化から財政安定化へ】

- (1) 年会費制の定着化
・会費納入者 2025年12月末で1000名超え
- (2) 交付金一元化
・大学 4 同窓会と高校同窓会交付金一元化、専門同窓会へ交付金支給

【活動活性化】

- (1) 同窓会活動活性化の見直し
・同窓会主催イベントを校友会主催に移行し、参加者増加。機械系同窓会「秋の集い」移行。
- (2) 支部活動活性化
・休眠支部再立ち上げ後のフォローアップ活動(新潟県支部など)
・地区グループ結成後フォローアップ活動(九州グループなど)

【校友の親睦・提携促進】

- (1) 支部支援活動
・富山県支部、長野県支部、青森県支部などの支部会や行事参加
- (2) 新春の集い 2026 実施
・2026年1月に新宿キャンパス1階アトリウムで実施、校友及び来賓 271 名参加
- (3) 広報活動強化
・HP の充実、SNS の有効活用(校友会 LINE の構築・運用開始)
- (4) 「校友サポートセンター」
・校友からのサポート要請に実績を上げた。
- (5) 活躍する先輩達のリスト整備
・リスト整備実施

【学園支援の強化】

- (1) 優秀学生・生徒の表彰
・中学生 2 名、高校生 3 名、学部生 15 名、大学院生 5 名
- (2) 学生・生徒の課外活動等に対する助成
・学生プロジェクト、部活等に助成①クロスミントン部、②学生フォーミュラ、③白浜ソーラーカー、④付属高校柔道部、⑤付属中学テコンドー部、⑥KRP プロジェクト他
・学園主催イベント助成
八王子祭、新宿祭、夢工祭
- (3) 学位授与式において年度毎の代表幹事 2 名指名

以上です。今後とも校友会と学園の発展のために校友会役員一同邁進してまいります。皆様のご協力・ご支援をお願い致します。

大学の動き

校友会の皆様には、平素より本学へのご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

2025年度は、改正された寄附行為に基づく理事会・評議員会が本格稼働し、役割分担とガバナンスを改めて確認しながら、安定した学園運営を進めています。新宿キャンパスでは大規模改修が進行し、これに伴い事務エリアを中層棟へ移転しました。環境が大きく変わる中でも、学生・教職員の学修・教育研究・各種手続きに支障が出ないことを最優先に、業務を行っております。

また、校友会事務局も移動となりますが、校友会との連絡を丁寧に行い、移動が円滑に行えるように努めてまいります。

学生支援の面では、学生活動における「チャレンジ活動奨励金」を新設しました。また、特別支援プロジェクトとして、学生プロジェクトのソーラーチームと、チャレンジ活動奨励金で選ばれたパラカヌーを応援しました。

八王子キャンパスで開催された国際学会「第24回国際先端技術シンポジウム (ISAT24)」では、本学をはじめ海外協定校から、多く学生・教員の参加者が集まりました。最先端の研究成果に触れるとともに、学生にとっても英語での発表やポスターセッションを通じて国際感覚を磨く良い機会となりました。

大学としては、学生の挑戦と学びの機会が続くよう引き続き制度面を整え、成果が学内外に伝わるよう発信を重ねてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



学校法人工学院大学 理事長
工学院大学 学長
今村 保忠

校友会 + 中高大院

附属中高は、工学院大学八王子キャンパスの中にあるが故に、中高生が大学生と一緒に活動したり、大学の先生から直接指導を受けたりと、他校では真似のできないすばらしい教育活動を展開できています。この、中高大院連携が工学院の強みです。そのわかりやすい一例は中高自動車部と大学ソーラーチームですが、これ以外にも多くの部活動に大学生がチューターとして関わってくれています。また、高校の探究論文指導に大学の先生が関わってくださったり、高校スーパーサイエンスコースを核として、大学における実験授業などを行なってもらったりしています。このような先進的な K-STEAM 教育が目玉され、中高とも入学生からの期待度が非常に高まっていると感じています。生徒も教職員も、附属中高の校訓である「挑戦・創造・貢献」を力強く実践し、地道な改善を積み重ね、誠実な教育を展開しています。

工学院の強みは中高大院連携だけでなく、何と云っても校友会の存在です。優秀な技術者をはじめとする卒業生を数多く輩出してきた工学院は、校友会員のみなさまのご活躍で評価が上昇を続けています。「中高大院+校友会」こそが工学院の強みの骨格であり、「最新の工学院が最高の工学院」であり続けるためには、校友会の活性化こそが肝要だと思っています。校友会のますますのご発展を祈念するとともに、附属中高へのご支援を今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。



工学院大学附属中学校・高等学校
校長
中野 由章

第13回社員総会報告

2025年5月25日(日)新宿キャンパス3階アーバンテックホールにおいて、第13回定時社員総会が開催されました。

議決権行使者である第5期代議員113名のうち、当日の出席者数は会場出席57名、オンライン出席8名の65名で、出席者数は過半数を超え、総会は成立しました。

来賓としてお越しいただいた今村保忠理事長兼学長からの挨拶の後、小澤和重会長が議長を務め、会議が開催されました。

議案は下記の2議案で、いずれも賛成多数で承認されました。

第1号議案：令和6年度決算書承認の件

第2号議案：第6期理事・監事選任の件

その後、報告事項では、令和6年度事業報告、令和7年度事業計画および予算等が報告され、最後に、退任役員、退任支部長に小澤会長より感謝状が贈呈されました。

社員総会終了後、各同窓会の報告会兼意見交換会が開催され、午後からは、アーバンテックホールにて、優秀学生表彰式を開催しました。



2025年度(令和7年度) 全国支部長会 ご報告

- 日時 2025年5月24日(土) 午後
- 場所 新宿校舎 3階 アーバンテックホール
- 来賓 理事長・学長 今村保忠様
- 出席者 全国支部長(一部代理)、小澤会長、白井副会長、上野事務局長、理事、監事、同窓会会長、支部組織部部員 合計58名
- 司会 支部組織部 部員

<概要：校友会HPより項目のみ抜粋 詳細はHPをご覧ください。>



- 校友会 小澤和重会長 挨拶
- 来賓 理事長・学長 今村保忠様ご挨拶
- 2024年度就任支部長の紹介；支部組織部
- 125周年記念誌の概要紹介；記念誌編集委員
- 校友会報2025版の完成報告；代理 総務部部長
- 年会費納入のお願い；財務部長
- 第20回全国大会・高知大会報告；高知県支部 支部長
- 意見交換会・質疑応答；議長・支部組織部 部長
議題：(1)「役員の高齢化で後継者不足にどう対応すべきか。」
(2)「継続的に有志開拓が必要だが、今までの活動状況は。」
- 正会員・準会員制度について；小澤和重会長
- アンケート集計；支部組織部 部長



『新春の集い2026』報告

新春の集い2026を2026年1月11日に新宿キャンパス1階アトリウムにて開催しました。昨年を上回る271名の皆さまにご参加いただきました。

開会宣言後、グリークラブOB会および樹輪の会による大学校歌、学園歌、附属中学校高等学校校歌の斉唱が行われました。校友会会長 小澤和重の挨拶、工学院大学理事長兼学長 今村保忠様の来賓祝辞ののち、後援会会長 新田英二様による乾杯のご発声で祝宴に移りました。和洋様々な料理やドリンクに加え、40都道府県の銘酒を集めた地酒バーをご用意し、来場者の皆さまよりご好評いただきました。

祝宴中はカナルトリオの3名による管楽器演奏が行われ、懐かしい名曲の素晴らしい音色で会場は大いに盛り上がり、新春の集いに花を添えていただきました。また、恒例の大抽選会が行われました。今回はグルメや家電のカタログギフト、旅行券、そしてサプライズ賞としてディズニーペアチケットを用意し、当選者から喜びの声が上がりました。

会場には工学院大学ソーラーチームと学生フォーミュラプロジェクトのご協力により機体を展示しました。Bridgestone World Solar Challenge 2025に参戦し、オーストラリア大陸を縦断して完走を果たしたソーラーカー「Cygnus」と、学生フォーミュラ日本大会2025に参戦し、全種目完走・総合12位の成績を取めたフォーミュラマシン「KRT25」が2台並び、周囲には人だかりができていました。また、写真撮影にご協力いただいた工学院大学新聞会による活動報告も行われ、学生団体に会を盛り上げていただきました。

新春の集い2026にご参加いただいた皆さま、景品の提供や寄付を頂いた会員・企業の皆さま、運営にご協力いただいた皆さまに心よりお礼申し上げます。



学園

大規模改修工事が本格始動

2025年、新宿キャンパスの大規模改修工事がスタートしました。11月には学生センターや就職キャリア支援センターなどの事務フロアが中層棟4～6階に移転。フロア集約により、学生や訪問者が窓口を利用しやすい環境に変化しました。事務職員はグループアドレス制の導入やワークスペースの多様化など、新たな働き方を取り入れています。

今後も新宿キャンパスでは各学部の研究室や教室の改修、長周期地震動対策工事などを実施予定です。



大学

学生・教員らが万博参加

2025年の大阪・関西万博に本学の学生・教員・卒業生が参加しました。学生プロジェクト「工学院大学 VR プロジェクト」はメタバースを活用して日本の魅力を伝えるコンテンツ「空中散歩」を制作し、年齢・国籍問わず多くの来場者が体験しました。また、本学教員が研究展示や出展ブースのデザイン、卒業生が会場の照明デザインのディレクションを務めるなど、国際イベントの運営に様々な形で携わりました。



ソーラーチームが世界大会完走

学生プロジェクトの工学院大学ソーラーチームが、2025年8月にオーストラリアで開催された世界大会「Bridgestone World Solar Challenge 2025」に出場しました。大会で使用した車両「CYGNUS(シグナス)」は製作過程のほとんどを学内でを行い、車両設計からチームの運営まで学生主体で取り組みました。大会中はトラブルに見舞われリタイアの危機もありましたが、無事オーストラリア大陸縦断3,000kmを6日間で完走し、クラス13位(日本勢2位)となりました。



起業促すコンテスト開催

起業の支援体制整備や持続的な事業創出サイクル構築のため、2026年1月に「KUTE-TOKYO スタートアップビジネスコンテスト」を開催しました。これは工学院大学が25年度の東京都大学発スタートアップ創出支援事業に採択されたことで開かれ、教員と学生が独自のアイデアや社会実装に向けたプランを発表。本学発のスタートアップに大きな期待を抱かせるコンテストとなりました。



先進工学部設立10周年

先進工学部が2025年に設立10周年を迎えたことを記念し、10月31日に「感謝と未来への集い」を開催しました。教職員や社会で活躍する卒業生、企業の方々や現役の在学生など300人が参加し、10年の歩みと今後のビジョンについて語られたほか、卒業生による講演や学生の研究発表などを通して交流を深める機会となりました。



note

工学院大学 note では、学園内の活動や出来事、卒業生や在学生にフォーカスし、様々な視点で本学の魅力を紹介していきます。是非ごらんください。



附属中学校・高等学校

硬式野球部が海外で野球交流

硬式野球部が2026年1月、本校主催の国際スポーツ交流プログラムの一環でバングラデシュを訪問しました。現地の選手や警察官チームと合同練習・野球交流を行い、野球を通じて文化と言語を越えた交流を深めました。現地のアカデミーや福祉施設を訪れ、子どもたちの学びと自立支援の現場にも触れました。渡航前には事前学習を行い、現地の歴史や社会課題も学習。この経験を学習や課外活動でも生かしていきます。



機械系同窓会活動紹介

～物作りなくして飛躍無し～



会長挨拶

機械系同窓会会長の成田です。昨年1年は機械系同窓会イベントとして「活躍する校友の報告会」と「機機械会」(キキカイ)を2回開催しました。秋の集いは令和7年度から校友会同窓会組織部が開催することとなりました。

いずれも校友、先生、学生の皆さまとの交流・懇親を図るものです。

機械系同窓会では若い世代の校友の同窓会活動への参加者増加に尽力しています。また、機械系同窓会のホームページを全面リニューアルし、タイムリーな情報提供に努めています。

<https://www.kogakuin-kikai.jp/>

機械系同窓会
会長 成田 治



活躍する校友の報告会

第16回機機械会(キキカイ) 7月5日・新宿校舎・ハイブリッド

演題：バイオマスプラスチックの開発
講師：工学部 機械工学科
高分子材料研究室
森野 麻衣子 助教
(2019年機械工学科卒)

森野先生は工学院大学卒業後大学院を修了され、昨年度本学教員に就任。天然繊維との複合化によって物性向上を目指す研究においての、研究成果について紹介頂きました。

第19回活躍する校友の報告会 8月30日・新宿校舎・ハイブリッド

演題：第一線で活躍する工学院大学
OB/OGへの公開インタビュー
ハセガワ ヨシヒコ
講師：技術者 長谷川 喜彦氏

2008年国際基礎工学科卒業、2010年機械工学専攻修了後、川崎重工業株式会社 本社 社長直轄 プロジェクト本部 近未来モビリティ総括部 計画部に所属。国内外での現場の最



第16回機機械会(キキカイ)



活躍する校友の報告会

前線で設計から施工、工程・品質管理、調達・契約関係まで幅広く携わり、国際的な現場でも技術を磨いてきた。大学院時代に挑戦した世界に通用するアメリカの技術士資格 [Professional Engineer(PE)] を取得。

現在も大阪電気通信大学で非常勤講師として若手育成に力を注いでいる。現在は東京本社の事業開発部門

で、ロボット配送など新しいモビリティサービスの立ち上げに挑戦中。

第23回秋の集い(校友会イベント開催) 10月11日・新宿校舎・ハイブリッド

内容：学生プロジェクトの活動紹介
参加プロジェクト：5プロジェクト

工学院大学 VR プロジェクト、学生フォーミュラプロジェクト(工学院レーシングチーム)、KRP(工学院大学ロボットプロジェクト)、KASA(宇宙開発プロジェクト)、工学院大学ソーラーチームに活動紹介頂きました。

第17回機機械会(キキカイ) 12月6日・新宿校舎・ハイブリッド

演題：航空理工学専攻の状況と精密放電加工の研究紹介
講師：先進工学部 機械理工学科
生産工学研究室
武沢 英樹 教授

2019年に先進工学部 機械理工学科に開設された「航空理工学専攻」について、ご紹介頂きました。また、武沢先生のご専門である精密放電加工の研究についても併せてご紹介頂きました。



第17回機機械会(キキカイ)

化学系同窓会活動紹介

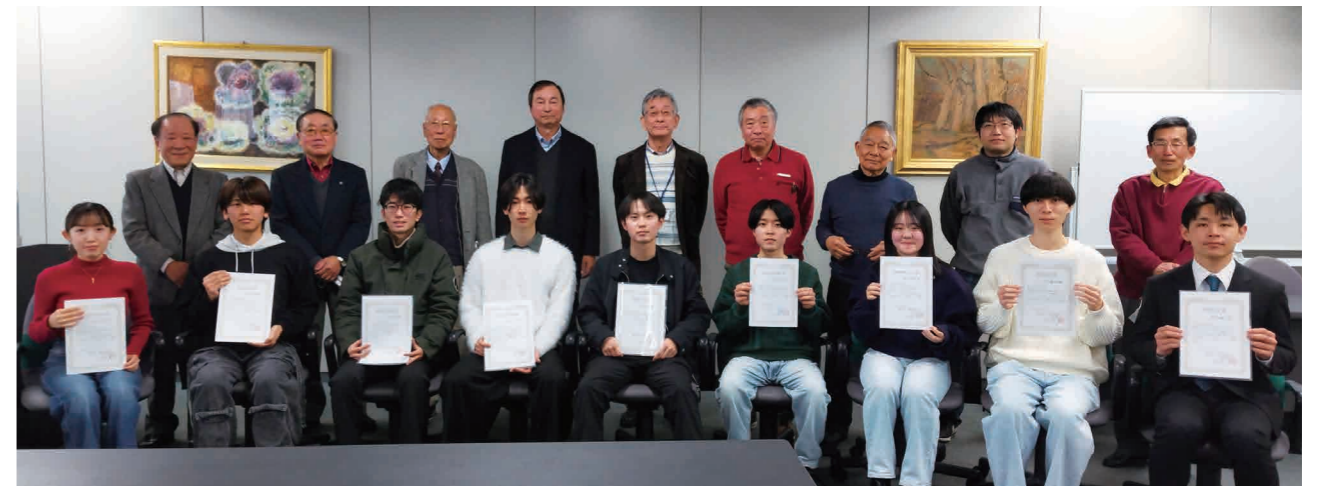
～応化会からCHEMI-Storyに～



会長挨拶

化学系同窓会は、今までの、教員の先生方と同窓会員による、学生諸君への支援を推進するだけでなく、生命化学科、応用化学科、環境化学科、及び大学院化学応用学専攻で学ぶ学生諸君や若い卒業生と一緒に活動する環境を整え、更に上の一層の楼を目指して前に進んでまいります。

化学系同窓会
会長 志村 豊



化学系同窓会は、化学系3学科(先進工学部、生命化学科・応用化学科・環境化学科)の卒業生(学部生)のすべての皆さんを会員として迎え活動している同窓会です。また、本学出身の大学院(化学応用学専攻)で学ぶ院生の皆さんは、学部を卒業された時点で、すでに会員となっています。

本会の活動の主たる目的は、①母校の学生の皆さんへの各種支援活動、②卒業生の交流と共助活動になります。学生のみならずへの支援活動には、学生生活をより豊かにする支援、学科の教学活動に対する支援、就職活動への支援などがあります。皆さんが参加される学科や化学系のスポーツ大会への支援はもちろん、例えば、課外活動である大学の公認学生サークルに対する支援も行っています。

また、学業活動に対する支援については、TOEICの取得SCOREを評価の対象とする「英語応援賞」制度を設置、金一封の副賞つきで運営しています。TOEICの取得SCOREは就職活動に有効です。多くの学生さんのENTRYをお待ちしております。そして、「英語応援賞」の受賞が皆さんの勉学の励みになることを願っております。

さらに、教学活動(授業、演習、特別講座など)のお手伝いや就職活動(職業選択講座、企業説明会、インターンシップなど)への支援についても、日頃、先生方と詳細をご相談しながら、検討と展開がなされています。

活動報告

化学系同窓会の学生支援事業の一つに、TOEICの取得SCOREによる表彰として「英語応援賞」があります。ENTRYの受付は、化学系各学科(生

命化学科、応用化学科、環境化学科)の先生方をお願いしております。ENTRYには、Excellent Score賞、High Score賞、Step up賞の3賞があります。毎年、ENTRY受付は12月末で締切り、表彰は翌年3月第二土曜日に新宿キャンパスで行います。令和7年度(2024)は9名の学生が受賞し、3月14日に28階の校友会談話室で表彰式が行われました。

化学系各学科による、バレーボール大会、ソフトボール大会などのスポーツ大会では、開催準備や表彰式後の懇親会への支援を行いました。同窓会の役員会は、毎月第二土曜日の午後、新宿キャンパス28階の校友会談話室で行われ、この3月の役員会で、新制大学に同窓会が作られて以降、通算288回目の役員会となりました。

電気系同窓会活動紹介

～卒業生のたまご、在学生を育てて元気づける～



会長挨拶

学園の大きな問題は解消され、これまでの遅れを取り戻すべく、まずは学園創立 140 周年 (2027 年) へ向けた歩みを進める段階となりました。これまで毎年実施されてきた在学生支援については、例年通り行うことができました。また、2025 年度の役員会では、昨今の物価上昇などを考慮し、各賞の副賞について調整を進めることとなりました。同窓会の基本金をもとにした新たな支援活動についても提案がなされ検討を進める予定です。

電気系同窓会

会長 鷹野 一郎

HP <https://www.denki.kogakuin.or.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/KogakuinUniv.DenkiDenshiJohoDousoukai/>



2025 年度の主な活動は以下のようになりました。

1) 役員会の開催

原則として毎月第 3 水曜日のリモート会議として実施し、今年度はメール審議も含め 12 回開催され、多くの課題について議論が交わされました。

2) 同窓会報告会兼意見交換会の開催

5 月 25 (日) に出席者 34 名の中開催され、2024 年度決算と活動報告、2025 年度予算と活動方針の説明、また同窓会所属の教員より学園の近況が報告され、活発な意見交換ができました。

3) 在学生に対する各種支援

・資格取得報奨制度：基本情報技術者試験 33 名、応用情報技術者試験 4 名、情報処理安全確保支援士試験 1 名、情報セキュリティマネジメント試験 2 名の合格者に対して受験料を支援しました。

- ・インターンシップ報告会優秀者表彰制度：工学部 1 名、情報学部 4 名に賞状と副賞を授与しました。2025 年度は校友会「新春の集い」の中で、2 名の表彰式を行うことができました。
- ・大学院生優秀論文表彰制度：大

学の各専攻から推薦された論文は情報学部の 3 件で、審議の結果 3 件すべて採択され、学位授与式に表彰し副賞を授与しました。

- 4) 学位授与式での同窓会活動の紹介
学位授与式は 2026 年 3 月 19 日 (木) に行われ、工学部、情報学部、先進工学部、大学院電気・電子工学専攻、情報学専攻において、同窓会の役員等により校友会活動の説明を実施しました。また、同窓会からの記念品 (名刺入れ) を贈呈しました
- 5) 同窓会誌隆星の刊行と表紙の公募
電気系同窓会誌「隆星」Vol.58 が刊行され、表紙は前号につづき公募した結果、下の表紙が採用されました。



建築系同窓会活動紹介

～「NICHE」と「建築を保存する会」の 2 つの活動について～



会長挨拶

私たち建築系同窓会では、同窓会誌「NICHE」の発行と「建築を保存する会」による『白樺湖 夏の家』の動態保存の 2 つの活動を実施しています。「NICHE」については、電子書籍化し同窓会会員の活躍や大学の情報を中心にお伝えしています。同窓会 HP や Facebook も改良を加えて行きます。これにより多くのお方にも情報をお届けしやすくなると思います。また、対面での行事も増やして行きますのでぜひご参加ください。

建築系同窓会

会長 高木 雅行

「建築を保存する会」では、フィンランドの建築の発想を継承した長野県茅野市の『白樺湖 夏の家』を動態保存しながら、北欧の建築に関する研究会などを開催しており、その成果が建築賞の受賞として実りつつあります。今後も同窓の皆様が誇れる同窓会を目指してまいります。

同窓会ホームページ：<https://niche-alumni.com>

NICHE フェイスブック：<https://www.facebook.com/niche.kogakuin>



業生の皆さんの報告や、隠岐島で「エコ改修」での長年の活動、出雲での「暮らしの豊かさってなんだろう」をテーマに古志古民家塾の活動をご紹介します。

「白樺湖 夏の家」への寄付のお願い

白樺湖夏の家は、学生たちの発案から計画され、アルヴァ・アアルトに師事した武藤章先生によって設計された貴重な建築です。工学院大学の建築教育のレガシーとして動態保存し、建築文化への貢献をめざしています。建築保存の趣旨に賛同いただける方にご寄付を募りたいと存じます。現在、複数の研究室や学生時代にご利用いただいたクラブの OB の方のご賛同いただき、ご利用や保存にご協力をいただいております。動態保存が終了を迎える時には敷地は借地のため終了時には更地にしてお返しする必要があります。計画的にその予算 500 万円を積み立てる予定です。どうか多数の方々のご賛同を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

[納入期日]

お早めのご納入にご協力ください。

[納入方法]

お手元にお届けした、払込取扱票 (赤文字) の寄付金欄に「白樺湖」と記載し 1 口 3000 円以上でお願いできれば幸いです。



電子書籍「NICHE vol.49」発行

記事の一部をご紹介します。

新しい風：鈴木賢人准教授へインタビュー

2023 年戸村英子准教授、2024 年山崎健太郎教授に続き 2025 年 4 月より卒業生の鈴木賢人様が建築学科

に新任の准教授として本学に戻ってこられました。ご専門は木質構造です。年末の多忙な中インタビューを受けていただき記事としてご紹介します。インタビュアーは NICHE Vol.45 で寄稿していただいた「信頼性工学」がご専門の中村孝明氏です。

NICHE Gallery：島根で活躍する本学関係者をご紹介します

昨年の山形に続き今回は島根の特集といたしました。卒業生の皆様や本学関係者の各地での取り組みを紹介いたします。県の職員で学生の調査研究にご協力いただいた山本大輔様に島根県庁舎周辺のモダニズム建築群をご紹介します。あまり知られていませんが主な設計者の建築家・菊竹清訓は'90 年代工学院大学の客員教授を務めて頂きました。その他まるでエーゲ海の集落の日本版の様な小伊津町での富永研究室の卒

附属高等学校同窓会活動紹介

～あいう～



附属高等学校同窓会
会長 内野 正之

会長挨拶

同窓会員の皆様には、日頃からご支援・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。本会の主な活動は校友会組織の一員として、役員は大学・専門学校の同窓会と協力し、学園全体の活性化と学園連携に力を入れてきました。具体的には校友会の「新春の集い」への協力、ホームカミングパーティー八王子の開催、クラブ活動助成、会報「夢広場」の発行、高校3年生へ優秀クラブ賞の表彰、卒業記念品贈呈、クラブ活動の大会での応援、などを主な活動として行いました。クラブ活動の大会では、会場に応援に駆けつけていただいた多くの同窓会員の皆様とお会いすることができました。また夢工祭にも多くの同窓会員の皆様とお会いすることができました。このような場でそれぞれ年代が違う同窓会員の皆様も繋がることが重要ですが、母校と繋がることも母校の発展のためにも大切だと思っています。これからもお時間があれば是非、同窓会の活動や後輩たちが活躍する場に足を運んでいただき、交流を深め母校の発展のためにお力添えをいただければと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



2025年度附属高校同窓会は次のような活動を行いました。

- 1) 生徒奨励（卒業記念品の贈呈、優秀な生徒の表彰と副賞の贈呈）
- 2) 高校への援助
- 3) 生徒の諸活動への助成（主にクラブ活動への助成と全国大会出場生徒への激励）
- 4) クラス会（OB・OG）への支援
- 5) 広報ツールの充実（会報の発刊、SNSによる情報発信、ホームページの運用）
- 6) クラス・クラブ委員制度の拡充（メール配信）
- 7) ホームカミングパーティー（懇親会、八王子キャンパス）の開催
- 8) 同窓会意見交換会の開催

9) 校友会活動への協力、参加特に7) 2月28日に開催したホームカミングパーティーは、ホームページに開催のお知らせを載せましたが、先ず6) クラス委員・クラブ委員に声をかけ、そこからクラス全員とクラブのメンバー全員にメールやLINEなどで連絡をしていただきました。このような取り組みでの開催は初めてで、参加者は70名（教員17名）ほどでしたが、母校での開催なので多くの先生方にもご参加いただきました。今後は毎年開催し、年々参加者を増やしていきたいと考えています。多くの同窓会員の皆様と十分な連絡が行き渡るようになるまで時間が掛かりますが、継続していくこと

で発展させていきたいと思えます。このパーティーの継続や夢工祭での“おもいでカフェ”を再開することで、多くの卒業生と母校とが繋がりを有する場を運営することで、新たな取り組みが生まれることにも期待し、同窓会活動がますます発展していけるように役員一同で頑張っております。同窓会員の皆様、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



専門学校同窓会活動紹介

～誠の心で実行・努力、結果を出す～



専門学校同窓会
会長 平山 徹夫

会長挨拶

東京オリンピックを控え何か役立つことをやりましようとした英会話教室（最初は対面でした。）はリモートで継続中です。音読が中心ですが熱心な方は、出張先から参加されています。もう一つの大事な活動は、役員会・情報交換会です。原則として対面でこれも毎月一回必ず開いております。2026年度のイベントとして、専門学校同窓会創立60周年を記念して“沖縄研修・見学旅行”を開催いたしました。8月1日（金）から3日（日）の日程で参加者は12名（現地参加が1名）でした。



1. この沖縄行きの主目的は、首里城正殿の再現現場の見学です。他の見学地と同様事前に専門のガイドさんをお願いしておきました。これが非常に良かったです。この首里城のガイドさんは、名古屋の大学出身のガイドさんで“同じ校友会ですね”というイントロから始まり、三次元のスクリーンを駆使しての懇切丁寧な説明に我々全員感動致しました。

- 単なる見学では、発見できないことが多々ありました。例えば
- 1) 石畳（凸凹道）がユネスコ世界遺産に登録されていること。
 - 2) 日本のお城は、直線的ですが首里城のそれは曲線にこだわりがあること。（丸い箇所にも利がある。）
 - 3) 湿気とシロアリ対策の為に石の上に柱を立てている。
 - 4) 国産ひのきは、22県より供出してもらったそうです。
 - 5) 鬼瓦は、フランスに貸与しました。フランスは、大阪万博のフランス館に左右に置いて飾ったそうです。

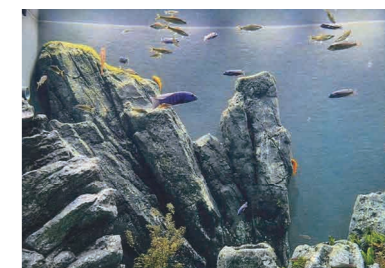
（ノートルダム寺院は、2019年に焼失しました。）

6) 首里城は、赤漆ですが、前処理として白・黒漆で塗り最後に赤漆で漆器職人さんが全19工程を経て仕上げたそうです。この首里城見学の感想で紙面がつきそうです。首里城再建完了後に、もう一度行きたいと思っています。他の見学地は、

2. 沖縄空手会館
3. 旧海軍司令部壕
4. ひめゆり平和祈念資料館
5. DMMかりゆし水族館
6. 対馬丸記念館

沖縄は、見学したい場所がかなりあり日程的に消化できるかどうか懸念していましたが、沖縄に本社がある旅行会社に頼んでほしい、食事も事前に予約などしておきましたので非常にスムーズにできました。※専門学校同窓会企業展（仮称）ービックリ業展ー未来の光 渡辺征三氏が会長在任中に計画しましたが、校

舎の耐震工事で延期となりその後の会長 相澤良夫氏の時に、コロナ禍となり再延期になりました。今年は、是非開催出来るよう計画しております。



各部会報告

総務部

部長 久慈 英樹 副部長 小林 一之
部員 一柳 裕昭、林 信之介、水越 芳夫

総務部の主な業務は、定款及び諸規則に規定された会議の開催、定款及び諸規則の制定、改廃。親睦会の実施。更には横断的な事業計画や中期長期計画に関する調査研究立案など多岐にわたります。以下は今期から来期にかけての主な取組であり、現在推進中であります。

1. 校友会を取巻く環境の変化に対する課題の抽出。具体的には会員の高齢化、校友会行事の参加率の低下。若手卒業生の校友会参加率の低下など、それに対応する企画の実施。
2. 会長ビジョンである、①校友会・学園・後援会の「三位一体」の強固な連携の確立。②財政安定化に向けた側面的支援の実施。

広報部

部長 佐藤 弘規 副部長 島田 浩行
部員 川島 久宜、丸地 賢、藤田遼太郎、田中 元樹
アドバイザー 鈴木 充孝

広報部は、校友会報の発行と校友会ウェブサイトの管理を主な活動としています。校友会報については、近年ウェブでの閲覧を推奨する形になって。ページ数を減少させた薄型のコスト削減版が定着しています。校友会ウェブサイトの管理については、トピックスとニュースの更新頻度も上がり、支部掲示板の更新度もアップしました。工学院大学校友会 LINE 公式アカウントも開設され、今後は他の SNS 媒体への拡張も模索します。

支部組織部

部長 中里 利男 副部長 荒井 翔平
部員 森田 保、小林 義和、吉川 靖彦、小野寺 康
鈴木 章弘、中野 健司、櫻井 良尚

地域支部の活性化と休止支部の立上げを推進。

1. 令和7年度は、有効49支部の内33支部の支部会へ参加。
2. 学生フォーミュラ、高校ソーラーカー、全国空手道選手権大会の各応援に参加。
3. 支部会以外の支部行事へも積極的に参加。
4. 全国支部長会を5月24日(土)新宿キャンパスで開催。皆様にご協力いただき、ありがとうございました。

財務部

部長 徳田 博文 副部長 河野 工
部員 川島 久宜、工藤 幸寛、岡安 彰

財務部は、校友会の健全な財務体質を目指して、四半期ごとの決算書において校友会の財産が適正に経理処理されていることの確認が主な業務です。財政の健全化を図るため正会員制を導入し、さらに会費の一元化を推進しています。校友会活動は校友会会費で運営しています。引き続き会費納入をお願いします。

同窓会組織部

部長 久保 直紀 副部長 飯田 雅弘
部員 小野寺 康、宮木 義雄、名取 勝敏、鄭 雄飛
内野 正之、田中 元樹

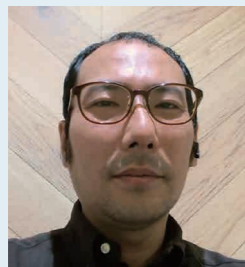
同窓会組織部は、同窓会活動の活性化、会員交流行事の企画運営を主な活動としています。新春の集い 2026、第24回秋の集い(機械系同窓会主催から校友会主催に変更)、第11回サタデートーク・博新会学術講演会を開催しました。また、同窓会長会議にて同窓会費の交付方法の変更について議論しました。

学園連携部

部長 箕谷 祐也 副部長 坂口 教子
部員 石田 真生子、宮木 義雄、小林 将夫、大谷 巨

学園主催行事や新宿祭・八王子祭等への助成を実施し、学生・生徒活動への援助金支給や成績優秀者の表彰を行いました。また、学生プロジェクト支援や地域行事への協力、部活動支援などを通じ、学園諸活動の充実に取り組みました。

箕谷祐也学園連携部部長に、シンガポール出張中の広報部長がインタビューしました!!



学園連携部 部長 箕谷 祐也

【Q1】学園連携部はいままで学園とのつながりの深い理事が担当してきましたが、箕谷さんはとても若い校友です。どのような大変さがありましたか？

学園連携部が一新した新たなチームで学園との連携役を担うことになりました。学園連携部は昨今とても難しい立場だと思っていますが、基本的なスタンスとして、学園の運営側としての視点が必要であり、学園が校友会に求めていることを引出す必要があり、結果として校友会が有効な支援をできているのかが問われる部会だと思っています。私自身は大学の職員も教員でもないので、学園側の意図を正確に汲み取りきれているのか、自問しつつ地道にやっています。できるだけ学生支援で支援された学生が校友会活動に参加してくれるようにしたいと思っています。

【Q2】今後の学園連携部の在り方をどのようにしていきたいですか？

効果的な支援の在り方を模索することが直近の課題ですが、私自身は大きく2つの目標を持っています。まずは「アルコール体質検査」の事業を軌道に乗せたい。そして校友会がTLO (Technology Licensing Organization: 技術移転機関) を事業として行える道筋をつくりたいということです。しかしながら、まずは学生と仲良くやれる仕組みを作りたいですね。

立山をあおぐ特等席の きときと富山に来られ～

10月23日 記念式典：富山国際会議場(富山市大手町)
祝賀会：ANAクラウンプラザホテル富山
10月24日 オフショナルトゥアー/県内観光名所見学予定

雨晴海岸から立山連峰を望む



黒部峡谷トロッコ電車



立山雪の大谷



黒部ダム観光放水



寒ブリ



白エビ

きときと海鮮



ホタルイカ

「きとき」とは新鮮という言葉です



紅ずわい蟹

一般社団法人 工学院大学校友会 富山大会実行委員会

報告 [事務局]

2026年度校友会主な行事予定

全ての予定は状況により、日程変更・中止になる場合があります。イベントの前には必ず校友会ホームページにてご確認ください。

開催予定日	行事内容	開催場所 (変更になる場合があります)
2026年5月30日 (土)	2026年度全国支部長会	新宿校舎
2026年5月31日 (日)	第14回定時社員総会	新宿校舎
2027年1月10日 (日)	新春の集い2027	新宿校舎

2025年度 表彰学生・生徒

学校	学部	学科	学年	氏名
工学院大学	大学院	機械工学専攻	2年	岩谷 大樹
工学院大学	大学院	化学応用学専攻	1年	小澤 武将
工学院大学	大学院	電気・電子工学専攻	1年	田中 恭輔
工学院大学	大学院	情報学専攻	2年	藤原 京平
工学院大学	大学院	建築学専攻	2年	筒井 瑚南
工学院大学	先進工学部	生命化学科	2年	井出 彩絢
工学院大学	先進工学部	応用化学科	2年	小澤 瑞姫
工学院大学	先進工学部	環境化学科	2年	中島 大斗
工学院大学	先進工学部	応用物理学科	4年	増田 一輝
工学院大学	先進工学部	機械理工学科	2年	大坪 慎吾
工学院大学	工学部	機械工学科	2年	田中 航盟
工学院大学	工学部	機械システム工学科	2年	藤田 瑛斗
工学院大学	工学部	電気電子工学科	2年	萩原 拓磨
工学院大学	建築学部		2年	平山 陽菜
工学院大学	建築学部		2年	佐川 遙那
工学院大学	建築学部		2年	杉崎 初姫
工学院大学	情報学部	情報通信工学科	4年	清水 悠平
工学院大学	情報学部	コンピュータ科学科	4年	横山 璃思
工学院大学	情報学部	情報デザイン学科	4年	佐藤 輝空
工学院大学	情報学部	システム数理学科	4年	村山 隼也
附属高等学校		普通科・先進文理・スーパーサイエンスコース	2年	芝沼 岳
附属高等学校		普通科・先進文理・スーパーサイエンスコース	3年	河野 有紗
附属高等学校		普通科・先進文理・スーパーサイエンスコース	3年	安岡 大介
附属中学校		先進クラス	2年	笠原 明
附属中学校		先進クラス	3年	小村 歌穂

2025年度工学院大学校友女性躍進賞

工学院大学校友女性躍進賞は工学院大学を卒業した女性で特に優れた業績・成果をあげた方を学園が表彰するもので、校友女性の社会的な活躍の認知度を高めること、また、工学院大学に在学する女子学生に対する男女共同参画と社会貢献への意欲の滋養を目的とされた賞です。2025年度は1名が受賞されました。

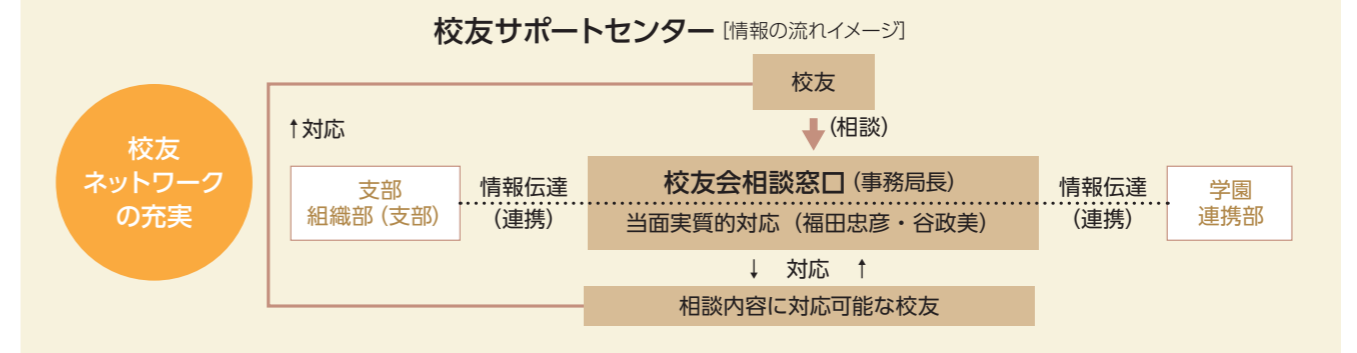
小林 令奈 さん

2005年工学院大学工学部国際基礎工学科卒業
 大学卒業後、シンガーソングライターとして活動。2012年からは(株)エイベックスエンタテインメントにクリエイター(作詞家、歌唱)小松リナさんとして所属。
 AAA、SHINJIRO ATAE(from AAA)、Kis-My-Ft2、ジャニーズWESTをはじめ9主題歌、Eテレ子供向け番組オープニング曲、アニソン、キャラソンなど多岐にわたる楽曲提供をされています。
 2017年AAA「LIFE」でレコード大賞優秀作品賞も受賞されています。
 2023年には機械系同窓会のキャリアイベントに登壇していただき、キャリアパスを紹介され好評でした。機械系同窓会誌への記事の寄稿等、同窓会活動にも参加していただいております。

校友サポートセンターのご案内

2020年より校友サポートセンターを開設しておりますので、お気軽にご相談ください。

- 趣旨** 日本全国で活躍している「校友と言う素晴らしい財産」を活かしたネットワークを全国支部と一体になり構築・運営する。
- 目的** ●学園の130年余の歴史と伝統を誇りとし、更なる発展を目指して学園と校友会連携による「学生及び校友会員のために、校友会は何ができるか?」に挑戦する。
 ●相談や支援の要請に対し具体的な成果を上げ「学生や校友から信頼され頼りにされる校友会」を目指す。



生涯メールサービス提供のお知らせ

学校法人工学院大学では学園や校友会からのお知らせや利用者間のコミュニケーション手段として2019年3月より生涯メールサービスの提供を開始しております。校友の皆様も申請いただくことによりご利用できます。

■申し込み方法

学園ホームページにある「生涯メール利用案内」をお読みの上、電子メールもしくは郵送にて校友会事務局までお申し込みください。その際、氏名、希望ローカルパート(3つ)、卒業学校(学部学科)、卒業年、本人確認書類(運転免許証、健康保険証など氏名、生年月日、住所記載の公的証明書)のコピー、校友会員番号が必要となります。郵送の場合は送付先の郵便番号、住所、氏名(本人)を記載の上、所定の切手を貼った返送用封筒(長4が望ましい)も同封してください。

■学園ホームページ 生涯メール利用案内
https://www.kogakuin.ac.jp/ict_support/

■申込み・問合せ先

工学院大学 校友会事務局
 E-mail: jimukyoku@kogakuin.or.jp
 住所: 〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2

- 対象者**
- 大学・附属中学校高等学校・専門学校の卒業生
 - 大学院の修了生
 - 専任教職員

メールアドレス1
(ローカルパート)@ g.kogakuin.jp

メールアドレス2
(ローカルパート)@ kute.tokyo

※2つのメールアドレスが利用可能ですが、どちらのメールアドレスも同じメールボックスに届きます。
 ※ローカルパートは申請時に希望を申し出いただけますが、先着順となるため重複時は調整となります。

訃報

謹んでお知らせいたします。ご冥福をお祈りいたします。

茅野 昭氏
 2026年2月24日ご逝去
 大学工業化学科1965年卒、元工学院大学環境エネルギー化学科講師、氏は校友会役員を務められました。

初田 亨氏
 2026年2月3日ご逝去
 大学院建築学専攻修士課程1971年修了、元工学院大学建築学科教授。

根岸 照雄氏
 2025年11月17日ご逝去
 大学院電気工学修士課程1966年修了、工学院大学名誉教授。

福元 儀智氏
 2025年10月18日ご逝去
 大学電気工学科1964年卒、氏は鳥取県支部長を務められました。

広瀬 竜也氏
 2025年9月8日ご逝去
 専門学校機械科1985年卒、氏は校友会役員、埼玉県中央支部副支部長を務めて

中西 凌嶽氏
 2025年9月5日ご逝去
 専修学校土木科1954年卒、氏は福井県支部長を務められました。

南迫 哲也氏
 2025年8月15日ご逝去
 大学建築学科1969年卒、工学院大学名誉教授、氏は建築系同窓会長、氏対野支部長を務められました。

高村 劫氏
 2025年8月6日ご逝去
 大学電気工学科1962年卒、氏は福島県支部長を務められました。

森 薫氏
 2025年3月23日ご逝去
 大学工業化学科1978年卒業、氏は高知県支部長を務められました。

年会費納入者名録

年会費納入者名簿

日頃より校友会活動にご理解とご協力を頂き熱く御礼申し上げます。
2024年度より年会費制がスタートいたしました。

2025年2月～2026年1月までに会費を納入された方々のお名前を同窓会別、卒業年順に掲載しております。敬称は省略いたしました。
複数の同窓会所属の方は振込票、または入力画面の会員番号、学科による同窓会に掲載いたしました。

機械系同窓会

1957	仲田	彗男
1957	岡田	明
1958	山本	修
1959	古溝	康朗
1962	猪狩	一守
1962	齋藤	四郎
1962	関谷	敷
1962	福田	志彦
1963	雨川	勉
1964	笠原	又一
1964	田中	瑞樹
1964	長沢	一男
1964	森本	豊
1965	岩田	秀明
1965	小林	朗
1965	白木	信二郎
1965	関谷	重彦
1965	田中	英生
1965	沢野	基泰
1965	志賀	剛
1965	鈴木	幸義
1965	瀬戸川	睦人
1965	弓削	武男
1965	尾身	幸男
1965	近藤	一夫
1965	後藤	弘太郎
1965	渡辺	征一郎
1966	岩本	信治
1966	上条	雅雄
1966	北川	晋一
1966	木村	左吉
1966	原	邦道
1966	本田	信之
1966	渡辺	邦雄
1966	武蔵	弘毅
1966	清水	輝雄
1966	西野	入重義
1966	松本	八郎
1967	紺屋	隆
1967	中谷	志雄
1967	横田	泰明
1967	辛島	敬明
1967	河村	忠
1967	茂木	一男
1967	本村	嘉次
1967	安藤	建
1968	大山	正雄
1968	金子	充
1968	重村	修二
1968	鈴木	庸雄
1968	滝島	正之
1968	木下	幸秀
1968	和田	進一
1969	遠藤	勝男
1969	大橋	耕一
1969	多田	庸男
1969	南	弘
1969	並木	光雄
1970	石田	英雄
1970	上田	浩四郎
1970	大石	啓元
1970	大石	陽一郎
1970	工藤	智
1970	小池	雍一
1970	関水	一夫
1970	武田	光雄
1970	森	敏樹
1970	渡辺	文矢
1970	岡	正美
1970	平野	達彦
1970	古市	泰朗
1971	辻井	文夫
1971	小川	永夫
1971	北原	茂

1971	前田	道徳
1971	松本	茂
1971	岩田	輝彰
1971	小川	和雄
1971	高橋	正良
1972	神田	陽博
1972	橋本	好弘
1972	水澤	久夫
1972	郡司	正明
1972	宇都	一敏
1972	松本	栄国
1973	北川	良治
1973	栗本	茂生
1973	成田	治
1973	横田	仁
1974	海藤	潤二
1974	岡崎	孝宣
1974	小林	功
1974	守永	泰雄
1974	岡田	安正
1974	小倉	秀男
1974	甲斐	直幸
1974	山下	晴久
1974	赤沢	房次
1974	佐々木	信之
1975	植木	幸裕
1975	小泉	隆人
1975	小室	信
1975	角田	悦啓
1975	飯野	和広
1976	赤川	幸一
1976	荒川	真司
1976	永広	沢誠
1976	柴田	誠
1977	磯久	毅
1977	大澤	信之
1977	佐藤	賢一
1977	坂口	雅昭
1977	前田	博行
1977	八戸	英夫
1978	鈴木	裕
1978	隅田	章
1979	小宮	雅信
1979	藤井	正志
1979	矢澤	尚彦
1979	花田	隆實
1979	平田	秀徳
1979	渡部	俊郎
1979	高崎	宗利
1980	綾部	努
1980	岡尾	克彦
1980	羽太	勇
1980	高澤	一行
1980	平野	晴義
1980	福泉	正人
1980	大塚	正美
1980	鈴木	勝彦
1980	高野	優
1981	千賀	吉展
1981	横田	耕一
1982	榎	和敏
1982	崎濱	正夫
1982	大石	芳治
1983	石田	和成
1983	廣住	禎彦
1983	佐々木	信
1983	藤川	英一
1984	坂上	好弘
1984	湯川	征
1984	清板	明平
1985	小倉	佳剛
1985	中村	和広
1985	水元	善章
1985	谷井	繁夫
1986	永井	貴徳
1986	藤野	賢一郎

化学系同窓会

1954	丹羽	宏之
1960	高崎	宗利
1960	吉永	俊明
1961	須藤	喜八郎
1962	穂本	佳能
1962	小山内	敏
1962	合田	房雄
1962	佐藤	浩安
1962	中込	孝之
1962	佐藤	重剛
1962	津上	健一
1963	佐藤	俊彦
1963	横田	貞一郎
1963	高田	芳矩
1963	馬場	進
1964	柳原	深谷
1964	佐藤	恵子
1964	杉山	孝一
1964	佐々木	巧
1964	佐久間	守人
1964	須田	俊男
1964	湯川	治夫
1965	太田	威
1965	茅野	昭
1965	亀井	治雄
1965	山崎	哲三
1966	吉川	重克
1966	佐々木	秀勝
1966	渡辺	麻男

電気系同窓会

1953	内田	金作
1959	村井	博之
1959	横塚	謙三
1960	河本	洋次
1961	玉城	惟好
1961	中下	正彦
1962	磯	三枝
1962	小川	道雄
1962	加藤	勇
1962	佐藤	英寿
1962	小林	鶴夫
1962	高田	貢
1962	福富	克一郎
1963	山崎	俊
1963	鮎澤	壽久
1963	中畑	慧
1964	石塚	良昭
1964	産屋敷	和生
1964	日吉	静男
1964	渡辺	静雄
1964	長嶋	秀世
1964	染谷	博
1965	高田	正稔
1965	播磨	秀行
1965	黒澤	兵夫
1965	藤川	洋
1966	大塚	正男
1966	椎名	務
1966	藤井	求
1966	倉賀野	孝行
1966	小森	和雄
1966	館山	和雄
1967	久我	道一
1967	橋本	照昭
1967	森	信二郎
1968	遠藤	昊
1968	木下	勝博
1968	横山	修一
1969	金澤	滋
1969	西垣	孟
1969	猪狩	正明
1969	藤井	決
1969	荒川	捷英
1969	岡田	修司
1969	三好	和憲
1970	梶	孝秋
1970	来住	佳夫
1970	小林	啓一
1970	白鳥	敏明
1970	高橋	良彦
1970	椋田	實
1970	新海	昭夫
1971	伊東	裕二
1971	佐々木	三七司
1971	田中	政司
1971	長谷川	努
1971	藤井	明仁
1971	淵上	洋行
1971	舟見	和男
1971	山崎	繁延
1971	山下	清次
1971	古沢	良夫
1972	坂本	秀悦
1972	竹本	正勝
1972	角田	重雄
1972	渡辺	一
1972	東	宜久
1972	井上	幸三
1972	岡本	清一
1972	加藤	文博
1972	栗田	隆
1972	中村	敏昭
1972	松原	章
1973	青野	極

電気系同窓会

1973	上野	耕平
1973	小川	好清
1973	小澤	和重
1973	宅間	徹
1973	彦坂	雅雄
1973	保谷	政明
1973	石坂	志士
1973	小野	幸男
1973	志田	長春
1973	上野	賢時
1973	梅田	武
1974	大久保	清
1974	南部	高史
1974	井井	敏正
1974	小峰	秀樹
1974	菊川	亘博
1975	田沼	和夫
1975	沼田	勉
1975	徳田	博文
1975	佐藤	良
1975	藤川	繁義
1976	石坂	淳一
1976	牧野	耕治
1976	益谷	雄介
1976	植木	義雄
1976	秋元	裕治
1977	加藤	卓郎
1977	金子	好行
1977	高橋	章二
1977	前田	立雄
1977	河下	幸弘
1977	吉田	修作
1977	中田	一寿
1978	藤田	昌志
1978	遠山	浩光
1978	中井	孝尚
1978	熊倉	新一
1978	宮下	章雄
1978	依田	凌
1978	萩原	潤
1979	寺沢	巧
1979	根本	弘道
1979	栗原	行雄
1979	中里	利男
1979	吉田	信吾
1980	小山	孝一
1980	関根	昌裕
1980	久吹	定夫
1980	若井	克友
1980	小川	宏幸
1980	宮崎	洋一
1981	竹中	了
1981	福田	聡
1981	五十嵐	芳美
1981	薄	晃
1982	前河原	博信
1982	上村	隆
1982	齊藤	一城
1982	昭二	昭子
1982	加藤	泰男
1982	小嶋	教子
1982	小内	實
1982	香西	志谷
1982	堀	慎一
1982	水越	芳夫
1983	香山	豊彦
1983	橋本	浩作
1983	唐崎	幸弘
1983	唐崎	明子
1984	高野	昌司
1984	唐崎	明子
1985	鈴木	久夫
1985	中村	聡
1985	田村	公一
1986	大西	弘泰

1986	杉村	豊
1988	山田	清
1988	加藤	清
1988	宮澤	智紀
1989	土屋	賢一
1989	石橋	誠
1989	清水	崇之
1989	田中	雅巳
1989	江原	浩二
1989	平岡	卓
1989	阿部	賀永
1990	坂本	浩一
1990	中国	拓司
1990	町田	保谷
1991	山口	英紀
1991	稲葉	正
1992	岡田	泰雅
1992	岡田	武
1993	小島	勉
1993	神山	裕邦
1994	山崎	貞郎
1995	田中	久弥
1995	渡辺	裕明
1996	河野	哲二
1996	横山	和宏
1996	千本	英毅
1998	山本	志
1999	横山	俊和
1999	畑名	邦彦
2001	鈴木	保章
2001	高橋	義典
2002	大谷	仁
2003	國定	義典
2004	阿部	祐也
2004	阿部	雅人
2005	熊谷	教央
2006	大垣	誠
2007	正木	圭
2008	田中	啓太郎
2008	伊達	玲
2008	小笠	航
2010	坂井	直之
2010	山本	孝明
2011	中村	仁
2013	堀田	涼
2014	加科	優希
2014	長谷川	健太
2016	衣川	剛史
2017	片山	達貴
2018	依田	凌
2021	井上	佳之
2021	早川	和秀
2022	近藤	蒼大
2022	南澤	直希
2022	阿部	浩之
2024	加藤	陽向
2024	伊藤	成未
2024	三好	大悟
2024	福島	凛太郎

建築系同窓会

1961	井上	泰俊
1962	谷	政美
1962	西村	武
1962	山田	伸一
1962	吉満	昭二
1963	白柳	敏行
1963	高岡	敏夫
1963	武智	昭雄
1963	宮崎	志谷
1963	奥田	幸司
1964	大長	欣弘

1964	木村	光信
1964	佐藤	淳一
1965	長谷川	晃
1965	宮沢	孝夫
1965	原藤	進
1965	木本	安信
1966	秋田	勝也
1966	野間	孫一郎
1966	平野	久雄
1966	青木	喜代司
1966	鈴木	正孝
1966	山田	雅孝
1966	関	五郎
1967	三宅	捷夫
1967	上野	光三
1968	内山	一郎
1968	川相	明弘
1968	日下部	統五郎
1968	小林	保男